

## 第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

### 法 規

〔1〕 無線局の免許人は、無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務大臣に無線設備の変更の工事の予定期日を届け出る。
- 2 あらかじめ総務大臣にその旨を届け出る。
- 3 あらかじめ総務大臣の許可を受ける。
- 4 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。

〔4〕 総務大臣は、無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるときは、その無線局に対してどのような処分を行うことができるか。次のうちから選べ。

- 1 空中線の撤去を命ずる。
- 2 無線局の免許を取り消す。
- 3 臨時に電波の発射の停止を命ずる。
- 4 周波数又は空中線電力の指定を変更する。

〔2〕 次の記述は、船舶に施設する無線設備について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶の航海船橋に通常設置する無線設備には、その筐体（かぶた）の見やすい箇所に、当該設備の発する磁界が に障害を与えない最小の距離を明示しなければならない。

- 1 磁気羅針儀の機能
- 2 自動操舵装置の機能
- 3 他の電氣的設備の機能
- 4 自動レーダープロットング機能

〔5〕 無線局の免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 船舶の所有者に通報する。
- 2 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。
- 3 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 4 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。

〔3〕 次の記述は、第一級海上特殊無線技士の資格を有する者が行うことができる無線設備の操作の範囲を述べたものである。電波法施行令の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶局の空中線電力  の無線電話及びデジタル選択呼出装置で25,010kHz以上の周波数の電波を使用するものの通信操作（国際電気通信業務の通信のための通信操作を除く。）及びこれらの無線設備（多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作

- 1 10ワット以下
- 2 20ワット以下
- 3 30ワット以下
- 4 50ワット以下

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に届け出る。
- 2 10日以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 速やかに総務大臣の承認を受ける。

# 第一級海上特殊無線技士試験問題

## 法 規

〔7〕 無線局を運用する場合においては、遭難通信を行う場合を除き、空中線電力は、どれによらなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 通信の相手方となる無線局が要求するもの
- 2 無線局の免許の申請書に記載したもの
- 3 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの
- 4 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最大のもの

〔8〕 無線局は、無線機器の試験又は調整のため電波の発射を必要とするときは、電波を発射する前にどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 自局の発射しようとする電波の周波数に隣接する周波数において他の無線局が重要な通信を行っていないことを確かめる。
- 2 自局の発射しようとする電波の周波数及びその他必要と認める周波数によって聴守し、他の無線局の通信に混信を与えないことを確かめる。
- 3 発射しようとする電波の空中線電力が十分であることを確かめる。
- 4 発射しようとする電波の周波数をあらかじめ測定する。

〔9〕 次の記述は、船舶局の機器の調整のための通信について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

海岸局又は船舶局は、他の船舶局から無線設備の機器の調整のための通信を求められたときは、、これに応じなければならない。

- 1 遭難通信を行っている場合を除き
- 2 責任者の許可を得て
- 3 一切の通信を中止して
- 4 支障のない限り

〔10〕 デジタル選択呼出通信（遭難通信、緊急通信及び安全通信を行う場合のものを除く。）において、自局に対する呼出しを受信した船舶局は何分以内に応答することになっているか。次のうちから選べ。

- 1 5分
- 2 8分
- 3 10分
- 4 15分

〔11〕 船舶局は、安全信号を受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その通信が自局に関係のないものであってもその安全通信が終了するまで受信する。
- 2 できる限りその安全通信が終了するまで受信する。
- 3 その通信が自局に関係のないことを確認するまでその安全通信を受信する。
- 4 一切の通信を中止してその安全通信が終了するまで受信する。

〔12〕 次の記述は、遭難の呼出し及び通報について述べたものである。国際電気通信連合憲章の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線通信の局は、遭難の呼出し及び通報を、、絶対的優先順位において受信し、同様にこの通報に応答し、及び直ちに必要な措置をとる義務を負う。

- 1 いずれから発せられたかを問わず
- 2 公海で発せられた場合には
- 3 自国の領海で発せられた場合には
- 4 自国の領海及び公海で発せられた場合には